

平成15年度第3回京都市図書館協議会・摘録

○ 日時 平成16年3月24日(水) 午後1時～2時30分

○ 場所 京都市生涯学習総合センター 3階 第4研修室

○ 出席委員 [欠席者なし]

向井 純子 会長

原田 憲一 副会長

太田 亮子 委員

大森 昌之 委員

迫田 照男 委員

島津 吉弘 委員

永井 麻里 委員

畑 正高 委員

林 慈子 委員

山岡 祐子 委員 (五十音順)

○ 傍聴人数 1名

1 開 会

- ・梶村中央図書館長からの挨拶

2 報告事項

- ・事務局から以下の項目について資料をもとに説明。

(1) 平成15年度京都市図書館利用状況について

- ・平成16年2月現在 利用者数 300万人
登録者数 38万人
個人貸出冊数 500万冊

(2) 平成15年度事業報告について

ア. 蔵書点検

- ・2/16～3/19の期間、臨時休館して全館で実施

イ. 各図書館ホームページ開設

- ・平成 15 年 12 月に全館HP 開設

(3)) 平成 16 年度主な実施予定事業について

ア. 右京中央図書館整備推進

- ・平成 19 年度完成予定
- ・新中央図書館構想は答申の指摘に沿い、規模等について今後慎重に検討していく。

イ. 地域図書館の夜間開館拡大

- ・平成 16 年度 北図書館、西京図書館が新たに夜間開館開始。
これにより地域館 15 館中 8 館で夜間開館が行われることになる。

ウ. 子ども読書の日記念事業

- ・4/23~29 読み聞かせ講座
読書えはがき展
本のもり
市立図書館での取組

3 主な意見

○ 防犯カメラを設置するにあたって、利用者のプライバシーには十分に注意するとともに、防犯カメラを設置していることを市民に対してアピールすることで抑止力になると思う。また、どのように設置・運用していくのかといった内規・ルール作りが必要であると思う。

○ 最近、個人情報の漏洩の件が民間において騒がれているが、図書館においては貸出履歴等の個人情報について、外部からも内部からも漏洩のないようにしっかりと管理してほしい。ただし、プライバシーの保護のために貸出履歴を消去するにしても、どんな本を、どんな年代の人が読んでいるのかといった傾向などの取るべき情報まで消去してしまうのはいけないと思う。

○ IC タグの話があったが、最近書店が導入しており、千葉県図書館でも導入していると聞いているが、IC タグには外部者が遠隔で様々なことを書き込めるので注意しなければならない。新しい図書館が増えてきているが、IC タグについてしっかりと知識を持ち管理を行っていく必要があると思う。

○ 図書館・学校図書館・地域文庫が連携を取り合って、子どもたちの読書環境を良くして

いくことが大切である。学校の調べ学習でも、パソコン・インターネットを使い、検索エンジンを利用して行っている学校も多いと聞く。先生や子どもたちにも地元の公共図書館に足を運んでもらうために、公共図書館でもこれだけの資料が提供できるということをもっと PR するよう図書館が努力していかなければならないと思う。

○ 最近、文化庁から、高校生の7割が本を1冊も読まないという報告がなされている。また、読書量も小学校、中学校、高校と進むにつれて雪崩方式に減っていることが指摘されており、本も読まない、映画も見ない、観劇もしないといったような高校生・大学生が多くなっており、知性が育まれていないと思われるが、図書館として高校とも連携をとっていく必要がある。

○ 右京中央図書館において新中央図書館機能の先行整備として IT 環境の整備が挙げられているが、IT のハード面を整えることも大切だが、それ以上に IT の使い方を学んでいくことがより重要であり、そのような取組を右京中央図書館でやってほしい。

○ 子どもたちの言葉や表現の力を育てていくことが大切で、図書館が果たすべき役割は非常に大きいのではないかと思う。

[事務局]

図書館には多くの利用者に来ていただいているが、中には他の利用者に迷惑をかける者もあり、利用者による暴力事件もこのところ数件起こっている。こうしたことから、「利用者の安全」と「図書の管理」を図る意味で、全館で防犯カメラを設置したが、利用者のプライバシーには十分に注意を払う必要を認識している。

また、最近、書店などで導入されている IC タグについては、コストダウン化や図書館向け製品の開発などの動きを見守りながら、可能な範囲で考えていきたい。

個人情報の保護については、外部（ネットワーク）からの侵入についてはファイアウォールの設置など万全のセキュリティ対策を行うとともに、職員への指導も常々行っている。

子どもの読書活動の振興については、学校や関係諸団体との連携のもと、4月下旬に「子ども読書の日」記念事業を全館で実施するなど年間を通じて様々な取組を行っており、今後ともその充実に努めていきたい。

5 閉 会